

総合統計書の見直しのたたき台（事務局案）

課題

1 国民に対する情報提供の充実の方策について

- (1) 総合統計書の位置付けが不明確
- ・総合統計書に関する情報提供が不十分
 - ・古い年代の総合統計書のデータを統計局ホームページ上に掲載していない（過去数年分はPDFやExcel形式で掲載）
- (2) 社会生活統計指標以外は、データベースの整備がなされていない
- (3) 各統計書の冊子の必要性
- ・統計局ホームページ上に、全ての統計表が電子媒体で掲載されているが、引き続き冊子を作成する必要があるのか。また、ユーザーからの需要があるのか

2 総合統計書の整合性

- (1) 各統計書の章の構成及び統計表を掲載している章の見直し
- ・統計書により章の構成が異なる、また類似した統計表でも統計書により掲載されている章が異なる
 - ・「日本の統計」は「日本統計年鑑」のダイジェスト版と位置付けているが、「日本の統計」にのみ収録している独自の表がある

3 その他

見直しのたたき台

1 国民に対する情報提供の充実の方策について

- (1) 古い年代の総合統計書（紙媒体）をPDF形式で整備し、国民に対し情報提供を行う
- <課題>
- ・統計のデータ化については要検討
 - ・数値の修正、遡及への対応が難しい
 - ・統計表によってはデータソースがないため確認できない
- (2) 総合統計書（※）に掲載されている全てのデータソースについてデータベースを整備（平成30年に次期政府統計共同利用システム運用開始予定）
- <課題>
- ・現時点では、各統計書に記載されている脚注及び統計表中の記号等のメタデータをデータベースに収録できない
- (3) 原則、データベースが整備された総合統計書は、冊子を廃刊
ただし、「日本統計年鑑」、「Statistical Handbook of Japan」及び「PSI（ポケット統計情報）」は引き続き冊子を刊行

2 総合統計書の整合性

- (1) - 1
「日本統計年鑑」に全国、「社会生活統計指標－都道府県の指標－」に都道府県のデータを収録
- ・各統計書に収録されている都道府県のデータの表数を把握し、そのデータを「社会生活統計指標－都道府県の指標－」に精査した上で、移行させる
- (1) - 2
「日本の統計」は、引き続き「日本統計年鑑」のダイジェスト版
- ・「日本統計年鑑」には収録されず、「日本の統計」にのみ掲載されている統計表の表数を把握し、その統計表を精査した上で、「日本統計年鑑」に移行させる

※ 総合統計書は、「日本統計年鑑」、「日本の統計」、「社会生活統計指標－都道府県の指標－」、「統計でみる都道府県のすがた」、「統計でみる市区町村のすがた」、「世界の統計」、「Statistical Handbook of Japan」及び「PSI（ポケット統計情報）」の8つが存在する。そのうち、「Statistical Handbook of Japan」は統計表・グラフ・地図・写真を交えて解説するため、データベースの整備対象外とし、残りの7つの統計書をデータベースの整備対象とする。